



学園が直接運営する グループホーム・ケアホーム 友愛寮

友愛寮寮長 橘川直人

NPO高等専修教育支援協会との業務委託契約のもと、10月1日付でグループホーム・ケアホームの指定を受けた友愛寮。「生活訓練の場」から「家」へ。以前にも増して、温かく、そして真の自立に必要なスキルの習得に力を注ぐ毎日です。その中で、模索を続けた運営主体の問題が急展開を見せました。規制緩和の要望に対する文部科学省、厚生労働省両省の回答から導き出

された結論は、運営可能な環境が整っているのなら学校法人でも何の問題もないということ。ただ前例がなかっただけだったのです。早速、東京都の担当者と相談しながら手続きに着手。私共、武蔵野東学園が直接運営するグループホーム・ケアホームに進化します。自己負担は、返金分を差し引いて月額9万5千円弱。船出から1年。平成19年4月には、文字通り『学校法人武蔵野東学園の友愛寮』がスタートします。

高等専修学校の進路について

進路指導部長 渡辺正司

今年度高等専修学校は、「進路指導〈職業観の育成〉」を教育重点に掲げ、新たにチャレンジショップでのインターンシップを加え、さらに厚みのある指導を展開して参りました。3年生(75名)の進路については、全員決定することができました。

今年度3年生の進路の方向性は、多種多用で、大学・短期大学(慶應・杏林・専修・明星・拓殖等8大学14名、短期大学1名)、4年制・3年制も含めた専門学校(14校23名)への進学者が増えました。また、福祉系への進学(3校10名)は、混合教育の成果と言えます。障害のあ

る生徒の就労に関しては、昨年度実施した「企業の皆様と障害者雇用について共に考える合同セミナー」を契機として、理解ある新しい企業が増えました。

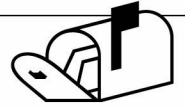
今日、めまぐるしく変化する社会の中で、生徒たちは、学校生活の充実、検定資格取得、スキルアップに懸命に取り組み、それを各自のアピールポイントとし、進路を決定してきました。まさに生徒一人ひとりが3年間積み重ねてきたことを進路決定に結びつけてくれたと確信しています。

保護者ラグビー部イーストブラックス

高く上がったハイバント、「マイボール!」と大きく声を出し、落下点まで走る。こんなに声を出し走るののは何年ぶりだろう。毎週土曜日か日曜日、高等専修学校のラグビー部の部員達と共に楕円のボールを追いだして半年間たちました。高等専修学校のラグビー部には3つのチームがあり公式戦を闘うAチーム、レギュラーを虎視眈々と狙うBチーム、そして技術、体力がまだ実戦を闘うには無理と判断されたCチーム。私達保護者チームはこのCチームと練習を行っています。共に走り一つのボールを追う、こんな保護者もいるんだと部員達に見てもらいたい、少しでもチームのバックアップになればと思いながら活動しています。主に基礎体力を養うトレーニングを中心に身体コンタクトのないタグラグビーを行っています。

共に楕円のボールを追いかけてみませんか?(高専 S)

武蔵野東学園 連合後援会だより



暖かい日が続いていますね。今年の桜は卒業・卒園式あたりに満開になりそうですね。別れと共に出会いの季節ですね。皆さんの一年はいかがでしたでしょうか? それでは、本年度の最終号をお楽しみください。

今日までそして明日から

「ありがとう!武蔵野東幼稚園」

幼稚園副会長 岡本晴美

私と東幼稚園の出会いは今から30年以上前、妹が通園している時でした。大きく素晴らしい作品展示の園まつり。綺麗な衣裳で上手に踊る発表会。優しい先生方・・・なんて素敵なところなんだろう!と憧れの場所でした。そして月日は流れ、子供たちがお世話になり、下の子の入園から三年間、五役として後援会のお手伝いをさせて頂くこととなり、元気な子供たちの笑顔や頑張っている姿を身近に感じながら活動して行くことができました。

もう少しで卒園式。子どもたちの成長の喜びと、ちょっぴりのさみしさをかみしめながら、心を合わせて皆で卒園式や祝う会の準備をしています。先生方、保護者の皆様の御協力のお蔭で今日までやって行くことができました。息子も娘も、そして母の私も、素敵な生活を送ることができました。本当に、どうもありがとうございました。



「卒業にあたって」

小学校副会長 上野清子

「プルル・・・」電話が鳴り、「こちらは武蔵野警察ですが」私は、娘が事故? 事件?何?と頭の中が一瞬で真っ白になり返事をする事ができませんでした。警察の方が「お子さんがお金を届けてくれています。」それを聞いて、はぁ～事故でも事件でもなくてよかった!!と思ったのです。たった十円でしたが、交

番に届けなければいけないと考えた娘を笑いながらも愛しく思ったのがついでこの間のようです。そんな娘も六年生になり一年生のお世話を楽しみと朝早く行く姿はとても頼もしく感じました。幼稚園からお世話になり早九年、東学園の先生方にはいろいろご指導頂きましたことに深く感謝申し上げます。



「早いもので娘が卒業を迎えます」

中学校副会長 藤本直美

上の子の学校生活を見て「楽しそう」と自分で選んだ東中。日々の生活はもちろん発表会・スポ大をはじめとしていろいろな場面で充実した毎日を送ってこられた事、嬉しく感じております。娘の入学のお陰で私も充実した日々を送ることが出来ました。各種行事でのお手伝いは、娘ほどではないにせよ自

分を成長させてくれたと思っています。娘同様、私もたくさんの友人に恵まれ、これからの過ごし方の基盤にもなったかと思えます。貴重な経験をさせていただきました。どうもありがとうございました。



「卒業にあたって」

高等専修学校副会長 久保法子

東学園には、息子が年長の時から13年にわたってお付き合い頂きました。何度抱きしめても足りない程にプクプク可愛らしかったラブリー息子くんも、今ではほっぺにニキビの散らばった顔でこちらを見下ろしつつ、わがままを言い張るまでに成長?いたしました。これまでに幾度「もしも彼が自閉症でなかったら、どうだったろう?」という自問自答を繰り返してきた事でしょう。しかし、今に至るも「これだ!」という答えは見い出せていません。ただ、ひとつ言えるの

は、息子に障害がなければ、この刺激に満ちた時間も、かけがえのない出会いも得る事はなかっただろうという事です。

母校の卒業は、船出する子供たちが母港を離れることに似ています。母校が、いつでも帰港できる母港であり続けて下さいように。船のようでもあります。いつでも帰港できますように。母港のような母校であり続けて下さいように。



「旅立ちの春」

むらさき会代表 高等専修学校 佐竹かおる

幼稚園年少から高等専修学校まで15年間東学園で純粋培養された我が家の次女も、いよいよ社会に出て行く日が近づいてきました。長女はすでに2年前に高等専修学校を卒業し、市内の作業所に通っています。子育て期間の殆どを東学園の中で過ごしてきました。

これから学園という港を離れ長い航海に出るような気持ちであります。学園の教育を忘れず、娘たちと共に毎日を大切に暮らしていきたいと思っております。ありがとうございました。



●編集後記

今回の「連合後援会だより」はいかがでしたでしょうか? 今年も多くの保護者の方々が、学園のサポーターとして各方面でお力を発揮いただいたことだと思います。新たな保護者の後援組織も誕生しましたね。「幼稚園のLet's」は、あったかボトフの会のお父さん版として、お父さん達の交流や、自閉症に対する一層の理解を深められる会として行われていきます。「高専の保護者ラグビー部」は、子ども達の近くで一緒に汗を流し、応援していく会として活動を行っています。(もちろん東学園に通う保護者なら園校男女の区別なくご加入いただけます。) 一年間、お付き合い頂き有難うございました。来年度もステキな一年になりますように!(小学校O)

●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修 織井 ひろみ 藤平 ゆき
中学校 泉澤 直子 岩垂 ユキ江
小学校 小林 信代 内山 純子
幼稚園 柴草 睦 鎌谷 恵美
高等専修 齋藤 良
中学校 桑原 厚
小学校 家住 陸士 北川 久一郎 大槻 敬



武蔵野東学園
連合後援会だより



むらさき会

新年会レポート

1月20日(土)4時半よりむらさき連合会主催の懇親会が開かれました。この行事は年2回、5月のむらさき親子運動会後と1月です。学園の先生方を沢山お迎えして総勢400名を優に越えての大交流会!!アルコールも入り、学年毎の各テーブルで競い合うように話は盛り上がります。教育談義はもちろんのこと、パチンコの腕前話やら、初恋の人の名前やら…笑い声が切目なく会場(東小体育館とサブアリーナ)を包みます。また懐かしい先生にお会いしてタイムトラベルを楽しむ保護者の姿も…。愉快的時間は、あっ!という間。終了を惜しみつつ、次回をまた楽しみにして、先生方の手際良い段取りとむらさき会執行部の方に感謝しつつ第32回のこの度も閉会となりました。(高専 O)



LET'S 立ち上げレポート

副園長 茂手木 清

幼 稚園では小さい子どもの教育環境なので、保護者の皆様との連携が多く活発です。主にはお母様方に後援会活動を支援いただいておりますが、お父様方にも何らかの形で幼稚園にかかわっていただける機会はないかと考えていました。書き尽くせないのですが、今年、様々なきっかけが重なって、11月25日に初めての父親懇親会が開かれました。園長からは最近の幼稚園の様子とともに、混合教育の取り組みを紹介。その後はこれからの父親懇親会のネーミングをテーマにして、グループ毎に楽しいやりとりがもたれました。普段なかなか幼稚園に接点をもてないお父様方も多く出席されて先生も含めて盛り上がりました。お父様方の後援会活動は「ラプリー・東・お父さんず」の頭文字をとって「Let's」として、第一歩をスタートしたのです。



子 供のクラスのお父さん数人と会う機会は度々ありましたが、他のクラスや学年のお父さんとの交流が難しいのが残念に思っていました。あるお父さんに話をしたら、「一度後援会長を交えて話をしましょう」と誘われました。その後、何回かの話し合いと多数のメールを経て、私達の想いをまとめることができ、園側にお伝えしました。

わずか数ヶ月間でLet'sが立ち上がったのには驚いています。これは

我々お父さんたちの声を快く受け止めてくださった園長先生をはじめとした先生方の努力のお陰だと思います。

社会人になってから仕事中心の人間関係が多くなった私たちにとって、お父さんの会はありがたい交流の場です。利害関係のない、子供に付いて気楽に話せるのがLet'sではないでしょうか。(幼稚園 N)



小 学校では、これまで土曜日に年4回ほど「土曜自由登校」が行われていました。来年度から、土曜自由登校のかわりに「Joy Day」が始まります!

Joy Dayは、その名の通り「喜びの日」です。普段子ども達は懸命に勉強に取り組んでいます。そんな子ども達が肩の力を抜いて楽しく過ごせる日。これがJoy Dayです。Joy Dayは学年・クラスを超えた交流の場にもなります。全ての学年、そして全てのクラスの児童が、一緒になって楽しめるイベントを行いたいと思っています。また、Joy Dayは子ども達だけでなく、保護者の皆さんが子ども達と一緒に楽しめる日でもあります。保護者の皆さんも一緒に楽しみましょう!

【第1回 Joy Dayについて】

4月14日(土) 「巨大絵」を行う予定。
東小学校の校庭(体育館)を「巨大なキャンパス」にして、子ども達に「巨大絵」を描いてもらおうと計画しています。
子ども達と一緒に巨大な絵を思い切り描いてみませんか?

【今後の予定】

3月26日の小学校教育方針説明会で詳細が発表されます。
また、第2回以降のイベントの企画も募集する予定です。詳細は別途ご案内いたします。



(小学校 K)